

執筆者紹介

ひろせ ひろこ 広瀬 裕子 本学文学部教授

もり ひろし 森 宏 本研究所研究参与

〈編集後記〉

本号では、戦後日本社会の断片を捉えた2本の英語論文を掲載した。

1本目は、「The Making of the Mainstream Discourse of Sex Education in Japan: The Role of a Japanese Periodical *Sex Education Today* (1972-1983)」(邦題仮訳「日本の性教育の主要な言説の作られ方：「現代性教育研究」(1972-1983)の役割」)と題する広瀬論文である。広瀬氏は、詳細な文献調査から、1972年から83年にかけて日本性教育協会が発行した「現代性教育研究」が、大戦直後の純潔な性教育から、その後の性科学に基づいた性教育へと転換していく際に重要な役割を果たしたことを示している。

2本目は、「Secular Changes in Body Height and Weight of Population in Japan since the End of WW II in Comparison with South Korea」(邦題仮訳「日韓比較を通じた戦後日本人の身長と体重の長期的な変化」)と題する森論文である。森氏は、年代ごとの一人あたりの食品消費支出、西欧諸国の身長の長期的な変化、戦後の日本人の体格の変化、子どもの成長パターンの日韓比較など豊富なデータを示しながら、我々の食生活や体格の変化を示している。

上記のようなユニークな両論文の内容について、当該分野の研究者にとっては、貴重な論考や記録となるものと推察する次第である。編集後記担当は門外漢ではあるが、小学生の頃に受けた性教育を思い返したり、先日訪ねた高知城の襖柱が自分の身長より低かったことを思い返したりしながら、興味深く拝読させていただいた。

(K.S.)

2016年6月20日発行

神奈川県川崎市多摩区東三田2丁目1番1号 電話 (044)911-1089

専修大学社会科学研究所

The Institute for Social Science, Senshu University, Tokyo/Kawasaki, Japan

(発行者) 村上俊介

製作 佐藤印刷株式会社

東京都渋谷区神宮前2-10-2 電話 (03)3404-2561
